

### ③ コマツナ・チンゲンサイを植える

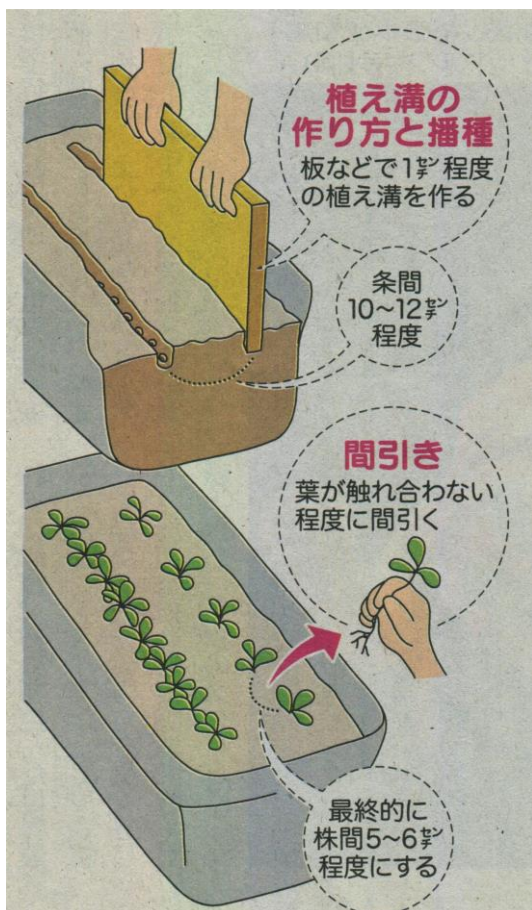
## プランターで手軽に

普段からスーパーなどでよく見かけ、買われている野菜の一つにコマツナ、チンゲンサイがあります。アブラナ科で、栽培期間が割と短く、家庭菜園向けの野菜です。プランターでも育てやすいでしょう。

①**プランター** 一般的なサイズ（約60センチ×20センチ×18センチ程度）のプランターでよいです。

②**培養土** 排水が良く、有機物を多く含む土が良いです。自分で配合する場合の例として、赤玉土7割、腐葉土2割、パーミキュライト1割を混合して使います。市販の野菜用培養土を利用するのが手軽です。

③**肥料** 培養土10割に対し、堆肥200グラム、化成肥料10グラム、苦土石灰10グラムを土とよく混合して使います。



④**種まき** 培養土の表面を平らにならし、種子の播き溝を、板切れなどで、1センチ程度の深さで作ります。一般的なプランターでは、条間を10～12センチ程度空け、植え溝を2列作れます。播き溝に3センチ間隔で播き、覆土をして、たっぷりと水をかけます。約3～4日で発芽します。播種するときは、厚播きすると苗が込み合って徒長しやすくなりますので、注意しましょう。

⑤**間引き** 発芽後、本葉が出始めたなら1回目の間引きをします。ふた葉の小さいもの、形のおかしなもの、徒長したもの等を間引き、子葉がふれあわない程度の間隔にします。さらに、本葉5～6枚のころに株間5～6センチに間引き最終的な株間になります。最終的にプランターに10株×2列程度になるようにしましょう。

⑥**追肥**、土寄せ 生育期間が短いので元肥主体で育てますが、生育が遅い場合には、液肥などで追肥します。間引き後に苗が倒れる場合は、苗が倒れない程度に株元に軽く土寄せします。

⑦**病害虫防除** コナガ、アオムシなどの害を受けやすいので、発生初期に捕殺しましょう。播種後すぐに1センチ目以下の目合の防虫ネットなどで、プランター全体を覆うようにするとよいでしょう。

⑧**収穫** コマツナは春播きは約1カ月、夏播きは3週間程度で、チンゲンサイは春播きで40～50日、夏場で30日程度で収穫できます。

（鹿児島市都市農業センター）

平成29年6月8日（木）／南日本新聞